

# 昭和20年(1945) 終戦 占領下の奈良



登大路と東向通の十字路で交通整理をする丸腰の日本警官とMP

写真：「グラフ奈良市政80年の歩み」より



紀寺町にあった軽飛行場か？

写真：奈良県立図書情報館蔵

# 昭和21年(1946)尾花劇場

## 戦後の娯楽 映画

昭和20年8月15日の終戦からしばらくして、楽しみを求めて映画館にお客さんが入り始めた。松竹制作の昭和13年制作「愛染かつら」を「尾花劇場」で上映して大盛況だった。

昭和20年12月 前編  
昭和21年1月 後編  
連日超満員

北は五十二段、南は御所馬場まで4列の長蛇の列が続いた。

写真提供：中野重宏氏



# 昭和21年（1946）正倉院展が開始

森鴎外は大正6年から11年まで、皇室博物館総長でした。これまで秘蔵であったのを正倉院物曝涼の際に公開するよう働きかけていた。

昭和21年から奈良皇室博物館（奈良国立博物館）において「正倉院展」が開催されることになりました。

正倉院宝庫は毎年秋に勅封が解かれ、宝物点検を行われるのに合わせ宝物を一般公開されてる。



第一回正倉院展 奈良皇室博物館

写真写真：市制100周年記念要覧「奈良」より

# 昭和22年(1947) 新憲法発布施行記念 のアーチ

日本国憲法は昭和21年11月公布、昭和22年5月3日施行。

国民主権、基本的人権尊重、平和主義を基本原理とする憲法が誕生。

三条通り猿沢池傍に日本国憲法を祝うアーチが建てられた。

写真：奈良県立図書情報館蔵



# 昭和 23 年 (1948) 3 月 7 日 自治体警察制度創設 市警庁舎

昭和 23 年から 29 年まで、  
三条通り (下三条町) に自治  
体警察として奈良市警察署が  
あった。迷彩色が残る市警の  
建物。

昭和 29 年奈良県警察発足に  
より奈良県奈良警察署とな  
る。

昭和 44 年三条大路一丁目へ  
移転

平成 26 年大森町へ移転



三条通り (下三条町) にあった市警庁舎

写真: 「グラフ奈良市政 80 年の歩み」より

# 昭和23年（1948）4月1日 自治体消防制度発足

昭和23年4月に奈良市  
消防本部として発足し  
た。

自治体消防制度発足  
県庁前に勢ぞろいした消  
防署員。（写真）

平成10年（1998）4  
月には、奈良市消防局に  
組織変更した。

（現在は八条五丁目）



写真：「グラフ奈良市政80年の歩み」

# 昭和25年(1950) 11月3日 奈良市庁舎再建

昭和23年(1948)

奈良市庁舎全焼

(市制50周年記念の10日後  
に焼失した。)

写真：「グラフ奈良市政80年の歩み」



昭和25年(1950) 再建された市庁舎  
木造2階建だった庁舎を鉄筋3階建てで再建

写真：「グラフ奈良市政80年の歩み」より

# 昭和 27 年（1952）平城宮跡が特別史跡に指定

特別史跡

明治時代から大正時代にかけて棚田嘉十郎氏の活躍の後、一部が史跡となったものの、しばらくは荒地のまま放置されてきた平城宮跡ですが、戦後社会が安定していく中で保存への機運も高まりはじめる。平城宮跡にあたる土地は食糧不足のため、一部分田畑になり稲作されていた。役牛の使用も普通に見られた。

昭和 27 年（1952）平城宮跡が特別史跡に指定。昭和 38 年頃から民有地の国費買い上げがおこなわれるようになった。



昭和 32 年（1957）3 月下旬

田園風景が広がり、一条通りにはボンネットバス、通学自転車、農業運搬は牛舎。

撮影：福川美佐男氏



# 昭和28年(1953)頃 お茶の無料サービス 国鉄奈良駅前

お茶の販売のため大きな「やかん」  
で無料サービスをしました。  
国鉄奈良駅前の広場にて。

写真提供：奈良市きたまち転害門観光案内所



# 昭和 28 年 (1953) 頃

## 「歯磨きライオン人形」を見入る子供たち

戦後、虫歯予防デーは昭和 23 年 (1948) に復活しました。学童歯磨訓練体育大会は昭和 28 年に復活しました。

歯磨きの普及を目指して、ライオン歯磨 (株) は歯磨きライオン人形で子どもたちへアピールしました。

その後、平成 6 年 (1994) には「学童歯みがき大会」、平成 28 年 (2016) からは「全国小学生歯みがき大会」と改称しました。

写真提供：奈良市きたまち転害門  
観光案内所



## 昭和 29 年（1954）頃 野犬狩り

奈良は古くから鹿愛護のため野犬対策がされてきた。昭和 25 年狂犬予防法施行により、野犬は保健所により保護されるようになった。

昭和 41 年には奈良公園の小鹿が 9 頭犬に食いちぎられる事件があった。当時、野良犬が約 4000 頭いたといわれる。

近年は、犬猫殺処分ゼロの取り組みが進んでいる。



# 昭和 30 年代 (1955~)

## 三条通りに多くの映画館

昭和 30 年代の娯楽は映画館花盛り。三条通りにも 3 館並ぶ盛況ぶりだった。1954 年には 2 スクリーンをもつ有楽会館開館。長谷川一夫、美空ひばり来館。「サウンド・オブ・ミュージック」「ロミオとジュリエット」等の名作上演。1960 年頃奈良市に 11 館の映画館があった。2000 年以降は郊外の手映画製作会社系のシスコンに押され 2010 年奈良市の映画館はなくなった。



友楽会館



奈良東映



友楽座

昭和 31 年元旦の 3 座

写真提供：谷井孝次氏

# 昭和30年(1955)鴻ノ池 運動公園計画第1期工事 として市営球場完成

昭和30年(1955)11月6日  
鴻池運動公園鴻ノ池第一期工事と  
して市営球場完成

昭和31年～33年

プロ野球公式戦

パリーグ5試合開催

近鉄パルスの主催試合が主

昭和58年改装

施設命名権売却で下記改名

平成28年 ならでんスタジアム

令和3年 ロートスタジアム奈良



昭和30年頃の市営球場

写真：市制100周年記念要覧「奈良」より

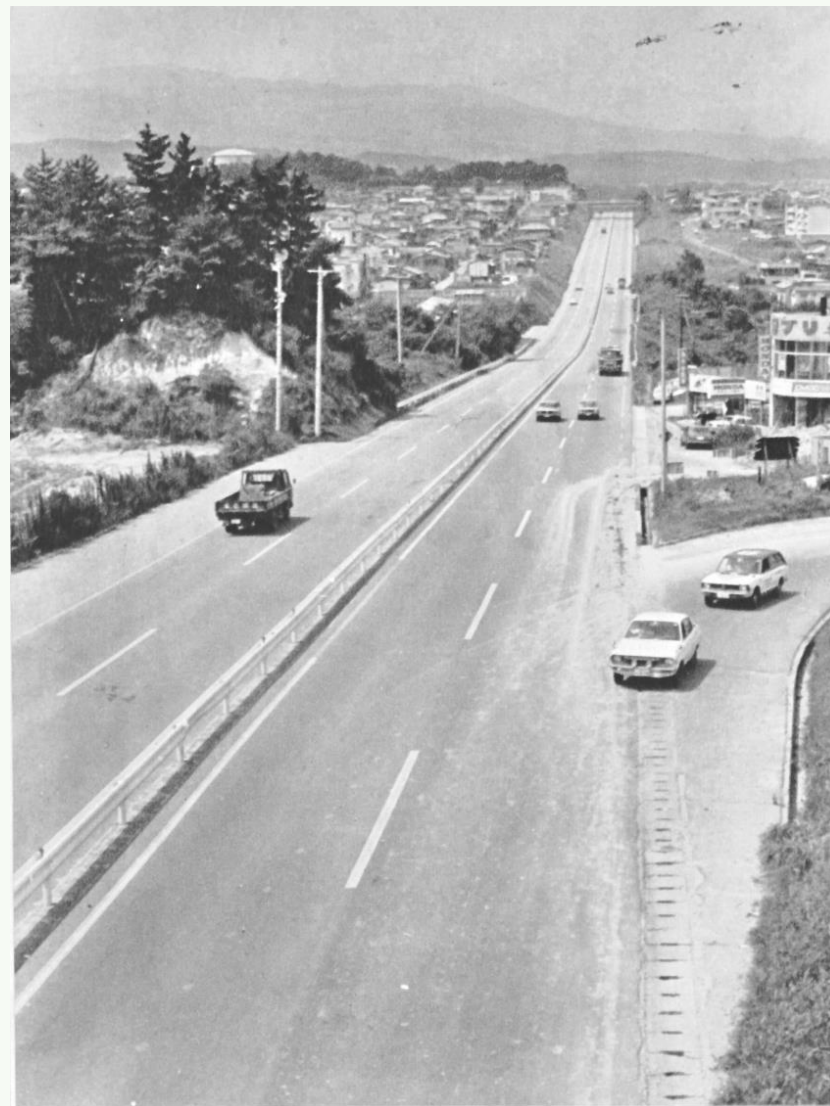
# 昭和 33 年(1958)12 月 25 日 阪奈道路開通

昭和 33 年阪奈道路開通、生駒山を横断する阪奈道路  
の開通で大阪が近くなる。(有料道路)  
大阪万博の年(昭和 45 年)には全線 4 車線へ拡幅。  
昭和 56 年(1981)12 月 25 日に無料開放。



昭和 33 年 阪奈道路開通当時  
開通式を祝う小学生

写真：「グラフ奈良市政 80 年の歩み」より



4 車線拡幅当時の阪奈道路  
学園前インター付近

写真：「グラフ奈良市政 80 年の歩み」より

# 昭和 34 年 (1959) 7 月 20 日 平城宮跡の発掘調査開始

昭和 27 年 (1952)  
平城宮跡が特別史跡  
に指定され奈良文化  
財研究所として発  
足。

昭和 34 年から奈良  
国立文化財研究所内  
に平城宮跡発掘調査  
事務所を設置し本格的  
な調査がおこなわれ  
た。



昭和 36 年 (1961) 8 月北部佐紀町方面 写真撮影：岡田庄三氏

# 昭和 35 年（1960）頃～ 学園前駅周辺を中心に 郊外住宅地の開発が本格化

高度経済成長の到来は、奈良を一地方都市から大阪のベッドタウンへと大きく変貌させることになり、自然豊かな丘陵地帯であった「学園前」エリア周辺などが瞬く間に市街化され、公団団地も多数建設し「住宅」がびっしりと立ち並ぶ風景へと大きく変わるようになった。



昭和 32 年 学園前駅方面 写真：帝塚山学園



昭和 35 年 学園前駅方面 写真：帝塚山学園



昭和 45 年頃学園前北部 奈良市提供



# 昭和 35 年 (1960)      メディシン・ウオーター

## 現代版：お水取り      自然流下導水路の早期実現へ！

奈良市の水道事業促進のため、昭和 35 年から自然流下導水を早期実現のキャンペーンとして「水道週間 メディシンウオーター」と称し水源布目川より奈良市街まで、奈良市内の各小中学生がリレーで力を合わせてパイプに入れた水をコースに沿って運んで行進した。

昭和 42 年に導水路完成  
昭和 44 年須川ダム完成  
平成 3 年 布目ダム完成



昭和 36 年 「布目川からの導水路」早期実現行進

写真提供：椿井小学校

# 昭和 35 年 (1960) 平城遷都 1250 年祭

元明天皇の平城京遷都  
710年から1250年に  
あたる昭和35年  
(1960)に記念行事  
として奈良遷都1250  
年祭が開催された。  
3月10日から6日間  
にわたり、奉祝会場の  
春日野運動場やパレ  
ードが行われた三条通り  
などを中心に延50万  
人の人出で賑わった。



平城遷都 1250 年祭 太鼓行列風景

写真提供：谷井孝次氏